

(4)

三河版

三河支局
0564(2)2461

業界・行政ニュース

サーフテクノ・ラボ

る調査方法。現在、国土り、舗装に生じている段差やクラックなどのデータを検査実施要領で、インフラ施設の5年に1度の点検が義務化されており、仮想の車を走らせることで、改修規模を定めることができる。

サーフテクノ・ラボ(愛知県一宮市、福原敏彦代表)は、道路の補修に必要なデータを収集できるIRI調査の機械を開発した。今後、営業を広く展開していきたい考えだ。

IRI調査は、舗装路面の劣化程度、路面を支持する舗装構造の健全度、沿道環境を解析でき

IRI調査機械を開発

仮想の車走らせ改修規模設定

道路の維持管理を行う上、仮想の車を走らせ、改修規模を設定している。注されたものに対しても、同社が開発したIRI調査の機械を導入したことで道路を走ることによる想定が容易となる。